

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	聴覚情報処理障害および各種難聴における雑音負荷 ABR の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2019～2024 年に、研究課題名「聴覚情報処理障害における雑音下聴取能の他覚的評価（研究責任者：泉 修司）」に参加いただいた方
③概要	<p>聴覚情報処理障害（auditory processing disorder: APD）という病気があります。音は聴こえるのですが言葉が聞き取りにくく、特に騒がしいところでの聞き取りが難しいという病気です。</p> <p>この研究では、APD と診断された患者さん、それ以外の難聴の患者さん、きこえに異常を感じていない方のそれぞれに、聴性脳幹反応（ABR）という検査を行い、APD の診断方法を調べることを目的としています。</p> <p>過去に行われた上記の研究も同じ目的で行われたものであり、それに参加いただいた方の結果を合わせて解析いたします。</p> <p>過去の研究で得られた情報を用いた研究であり、対象の方に新たな負担が生じることはありません。本研究に参加を希望されない方は、参加を拒否することができます。拒否しても不利益が生じることはありません。</p>
④申請番号	2024-0237
⑤研究の目的・意義	APD は、音は聴こえるのですが言葉が聞き取りにくく、特に騒がしいところでの聞き取りが難しいため、学業や仕事に困難が生じる病気です。通常の聴力検査だけでは診断できないため、新たな検査方法が求められています。本研究では、雑音下で ABR という検査を行うことで、APD の診断につなげたいと考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究で得られた情報は、研究以外には使用せず、他の施設へ提供することはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、検査データ
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 泉 修司
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 泉 修司
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記

にご連絡をお願いします。

所属：耳鼻咽喉・頭頸部外科

氏名：泉 修司

Tel：025-227-2306

E-mail：izumi@med.niigata-u.ac.jp